

## 別表 1

## 提案事項

事 項	留意事項
捕獲計画 (捕獲頭数、スケジュール等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 捕獲目標頭数を記載すること。(指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画に記載している頭数以上を提案すること。)</li> <li>2 提案するくくりわなの種類、設置数、設置日数及び止めさしの方法並びに設置、見回りに従事する人数等を具体的に記載すること。併せて、提案した目標頭数の捕獲が達成できる根拠を記載すること。</li> <li>3 シカ以外の鳥獣が捕獲された場合の対応(捕獲又は放獣)について記載すること。</li> <li>4 契約締結から事業完了までの事務手続き及び捕獲作業における準備、捕獲、処理に係るスケジュールについて記載すること。</li> </ol>
捕獲個体の処理方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 捕獲個体の処理方法について、埋設、焼却、食肉利用、自家消費等の手法を具体的に記載すること。複数の手法を取り入れても構わない。</li> <li>2 処理による自然環境、生活環境への影響及び影響を抑制するための手段について具体的に記載すること。</li> </ol>
業務執行体制及び技術力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 捕獲計画作成、捕獲実施、県が行う捕獲物の確認への対応、わな設置場所、捕獲場所の記録収集、目撃効率、捕獲効率等の情報収集など、業務別配置体制、配置予定者氏名、役職、経歴、実績などを記載すること。</li> <li>2 日々の実績の県への報告、各種許可申請等の事務処理体制及び責任者について記載すること。</li> <li>3 連携する関係機関があれば記載すること。</li> <li>4 目撃効率(S P U E : 目撃数/作業人日数)、捕獲効率(C P U E : 捕獲数/捕獲努力量)等の情報収集の手法を記載すること。</li> <li>5 捕獲効率や安全性の向上を図るため、新技術やICTなどを活用する場合は記載すること。</li> </ol>

業務履行の確実性	<p>1 過去3年間における年度ごとの鳥獣捕獲の事業実績（くくりわな猟によるシカの捕獲に限る。）</p> <p>① 年度</p> <p>② 発注者（県、市町村、民間企業等）</p> <p>③ 事業費</p> <p>④ 捕獲事業名（許可捕獲、狩猟等）</p> <p>⑤ 受託した形式（鳥獣被害対策実施隊、任意団体など）</p> <p>⑥ くくりわな猟による捕獲・従事した実績（捕獲数、わなの数、設置日数等も記載すること）</p> <p>⑦ その他、事業の特色等</p> <p>2 本事業の捕獲実施区域内での指定管理鳥獣捕獲等事業、有害鳥獣許可捕獲及び狩猟等により捕獲・従事した実績があれば記載すること。法人等の組織として捕獲した場合は詳細を記載する。</p> <p>3 本事業の捕獲実施区域の地形や捕獲状況に関する知見を記載するとともに、捕獲候補地に想定している地点があれば記載すること。</p>
地域関係機関との関わり	<p>1 関係機関（市町村、土地所有者、地元区等）との連携、調整方法について記載すること。</p> <p>2 本事業の捕獲実施区域内で従来から活動していた狩猟者団体等との連携、協調方法について記載すること。</p> <p>3 提案に際して、関係機関との連絡調整を行った場合は、その状況を記載すること。</p> <p>4 従事者に市町村の鳥獣被害対策実施隊となっている者がいる場合、有害鳥獣捕獲の支障にならない計画であるかを記載すること。</p>
安全管理手法	<p>1 業務全般に係る従事者に関する安全管理手法について記載のこと。</p> <p>2 本事業の捕獲実施区域周辺の住民等に対する安全管理及び周知の手法について記載すること。</p> <p>3 万が一、事故が起こった際の対応等について記載すること。</p>